

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士専攻科		科 目 区 分	その他	授業の方法	演習
科 目 名	国試演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	通年	教室名	406
担 当 教 員	専任教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
グループワークや単位認定試験を行い、国家試験の専門基礎科目、専門科目についての知識を獲得する。						
《成績評価の方法と基準》						
第6回～第10回までの国家試験演習単位認定試験において国家試験演習単位認定基準に達していること						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
1～3年次に使用した教科書 配布資料						
《授業外における学習方法》						
国家試験範囲の学習						
《履修に当たっての留意点》						
1年次の基礎科目、2年次の専門基礎科目、3年次専門科目を見直し						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	電磁気治療機器、機械的治療機器について理解でき、説明できる。		臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
	各コマにおける授業予定	電磁気治療機器、機械的治療機器				
第2回	授業を通じての到達目標	光治療機器、超音波治療機器について理解でき、説明できる。		臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
	各コマにおける授業予定	光治療機器、超音波治療機器				
第3回	授業を通じての到達目標	内視鏡機器・熱治療機器について理解でき、説明できる。		臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
	各コマにおける授業予定	内視鏡機器・熱治療機器				
第4回	授業を通じての到達目標	血液透析について理解でき、説明できる。		臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
	各コマにおける授業予定	血液透析				
第5回	授業を通じての到達目標	アフレス療法について理解でき、説明できる。		臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出	
	各コマにおける授業予定	アフレス療法				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	生体計測の基礎を理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	生体計測の基礎について		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	心臓循環器系の計測機器について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	心臓循環器系の計測について		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	脳・神経系の計測機器について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	脳・神経系の計測について		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	ESWLなどの機器を理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	外部エネルギーから導く計測について		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	血液検体検査に使用する計測機器を理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	検体測定(血液)について		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	循環器系の解剖・生理、病態と治療を理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	循環器系の解剖・生理、病態と治療		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	体外循環装置を理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	体外循環装置について		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	人工心肺中の病態生理を理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	人工心肺中の病態生理		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	人工心肺中に使用する物品や使用方法を理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	人工心肺操作実際		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療学概論を説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補 国家試験過去問題 第2種ME技術実力 検定試験過去問題	国家試験過去問題の復習
		各コマにおける授業予定	医療学概論について		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	医学総論について説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補 国家試験過去問題第2種ME技術実力検定試験過去問題	国家試験過去問題の復習
		各コマにおける授業予定	医学総論について		
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	生体機能代行装置学呼吸療法について説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補 国家試験過去問題第2種ME技術実力検定試験過去問題	国家試験過去問題の復習
		各コマにおける授業予定	生体機能代行装置学呼吸療法について		
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理学について説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補 国家試験過去問題第2種ME技術実力検定試験過去問題	国家試験過去問題の復習
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理学について		
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	電気工学について説明できる。	臨床工学技士標準テキスト第3版増補 国家試験過去問題第2種ME技術実力検定試験過去問題	国家試験過去問題の復習
		各コマにおける授業予定	電気工学に関する事項		
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	電子工学について説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補 国家試験過去問題第2種ME技術実力検定試験過去問題	国家試験過去問題の復習
		各コマにおける授業予定	電子工学に関する事項		
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	情報処理工学について説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補 国家試験過去問題第2種ME技術実力検定試験過去問題	国家試験過去問題の復習
		各コマにおける授業予定	情報処理工学に関する事項		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	機械工学について説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補 国家試験過去問題第2種ME技術実力検定試験過去問題	国家試験過去問題の復習
		各コマにおける授業予定	機械工学に関する事項		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	医用材料物性工学について説明できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補 国家試験過去問題第2種ME技術実力検定試験過去問題	国家試験過去問題の復習
		各コマにおける授業予定	医用材料物性工学に関する事項		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			